



知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax // 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1
[HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

隠岐郡中学校体育大会

「悔しさを今後の大きな力に！」

六月八・九日に行われた隠岐郡総体。最後の三年生にとっては本調子を出すことができなかったり、心の隙で勝てる試合を落してしまったりと、悔しい思いの残る大会となりました。この大会に向けて、もちろんチーム全員で努力してきました。「努力をしたら、必ず結果が出てくる」ことはありません。しかし、結果を出した人は必ずすべからく努力をしています。悔しさを胸に、次の県大会で結果を出せるよう、部活動としても最善を尽くしていきたいと思えます。地域、保護者の皆様方、どこにも負けない熱いご声援をありがとうございました。

〔女子ソフトテニス部顧問〕



【学校教育目標】

未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する

【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・共に生きる子ども
- ・たくましく生きる子ども
- ・ふるさとを愛する子ども

(大会結果)

- 女子団体 二位
- 男子個人 古谷・野村組 三位
- 女子個人 原・南家組 三位



男子キャプテン

僕たち男子テニス部の郡総体の結果は、団体は一回戦負け、個人は最高が三位で、県総体出場は一ペアだけでした。僕は、今までたくさん練習し、誰よりも努力してきたつもりでした。しかし、結果を出すことができず、本当に悔しかったです。県総体まで残り一ヶ月なので、悔いの残らないようにしたいです。そして今まで僕たちを支えてくださった先生方や家族、地域の人たち、知夫小中学校のみんなへの感謝の気持ちを忘れずに、がんばっていききたいです。これからも応援よろしくお願ひします。

女子キャプテン

悔しいという気持ちが一番大きいです。個人戦では負けたことがない相手だと思ひ、勝てると思って中途半端な気持ちで甘えが出てしまいました。緊張して自分のプレーができませんでした。団体戦では、穂佳さんと最後まであきらめずにプレーできました。でも、優勝はできませんでした。この悔しい気持ち、結果のまま終わりにたくないです。だから、県大会での目標を達成するための日々の練習を頑張ります。また、部活を引退するまで、地域の方や先生方への感謝は忘れません。

春季遠足で「ふるさと」を満喫

六月二十日に小学部一〜四年生は赤ハゲ山へ遠足に出かけました。車で頂上までいけるので、ほとんどの子が歩いて登ったことがありません。一度は歩いて登ったという経験をさせたいと思ひ企画を行いました。一年生にとって遠すぎず、四年生にとって短すぎない距離を考えて仁夫からの約四・七kmの往復で実施しました。

行きはずっと上り坂が続きましたが、少しずつ大きく見えてくる頂上の展望台を目指して列を乱さずに歩くことができました。頂上ではおやつやお弁当を食べた後、全員参加の鬼遊びでもりあがりました。まだこんなに走れるのというくらいたくさん走って、持ってきた水筒では水分が足りなくなりそうでした。天候にも恵まれ、山頂に二時間近く滞在できたことで、赤ハゲ山に歩いて登ったという達成感ほどの子にもあったのではないかと思います。〔小学部三・四年担任〕

あかはげやままであるのがつかれました。いっぱいあるのがつかれました。みんなでかくれんぼをしたのしかったです。

小学部一年 女子

今日は遠足で赤ハゲ山に行きました。行きの道はすごく遠くて、薄毛の4倍くらいあったので、つかれました。ついてからはおやつタイムで、〇〇くんがすごく食べていました。昼ごはんはまた〇〇くんがすごく食べていました。他のみんなもおいしそうでした。遊びのときは、みんな楽しくできたのでよかったです。

小学部四年 男子



中学二・三年生の遠足は、ミニ自主研修を企画し、三班に分かれそれぞれが行きたい場所を決め、ルートやバスの時刻などを調べ、午前中は班ごとに行動しました。自然を堪能した班、観光地を回った班、ゆつくり心を癒やした班とそれぞれ特徴があり、充実した遠足になりました。

また、一年生は「知夫を知ろう」というテーマで、隠岐の島町から講師に来ていただきジオパーク学習をしながら知夫を回りました。仁夫の湧き水や赤壁、赤ハゲ山、島津島など改めて知夫を学ぶよい機会になりました。〔中学部三年担任〕

中学部一年 男子

この遠足で、知夫にある物のすごさ、知夫の歴史の深さ、知夫にある物の貴重さなどがわかりました。僕が心に残っているのは「名垣」についてです。名垣は昔、牧畑のためにつくられた物で、世界を探しても、かなりめずらしいということを教わりました。それを知って、僕は「先人がつくった大切な物だから、今いる僕たちが守っていかなければならないな」と思いました。

中学部二年 男子

僕たちは、中学部二・三年生は、西ノ島に遠足に行きました。焼火神社など、たくさん場所をグループで巡りました。鬼舞や赤尾展望台に行くときに、牛のふんがたくさんあり、すごく臭く、バスから出る気になりませんでした。牛が逃げないようにテキサスゲートというものがあることを初めて知りました。班活動の後に、摩天涯に行きました。僕は高いところが苦手だし、看板に「怪我などに関しては一切責任を負いません」と書いてあったので、少し不安になりました。しかし、無事に帰る事ができました。良い天気の中、みんなと楽しく歩いたり、おいしいご飯を食べることができ、良い遠足となりました。

小学部修学旅行 「忘れられない最高の思い出に」

六月十九日～二十一日の三日間、広島に修学旅行へ行って来ました。

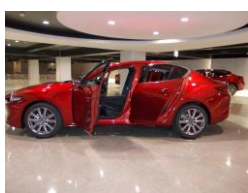
一日目は、マツダミュージアムで、憧れのオーナーカーに乗り記念撮影をしました。夜は、ナイター観戦をし、カープファンと一体となり応援をしました。

二日目は、平和記念公園・原爆資料館で戦争の悲惨さ、原爆投下により家族を失った遺族の悲しみなどを感じることができました。午後からは、宮島観光をしました。厳島神社の歴史や秘密を学びました。また、宮島水族館や商店街での買い物も楽しみました。

三日目は、蒜山ジョイフルパークで乗り物にたくさん乗りました。お気に入りの乗り物に何度も乗り、時間いっぱい満喫しました。

移動のバスの中でも、ほとんど眠ることなく、ガイドさんとの会話やゲームなども元気いっぱい楽しんで、子ども達にとっても私にとっても、忘れられない最高の修学旅行になりました。

〔小学部五・六年担任〕



小学部五年 女子

しゅう学りよ行の最後の日にひるぜんジョイフルパークに行きました。ジェットコースターとファルコンに乗ったら、しんぞうが、口から飛び出しそうになるほどこわかったです。もう一生乗りたくないです。でも、空中ブランコがとても楽しかったです。急流すべりも楽しかったです。また行きたいと思えるような一日でした。

小学部六年 男子

原爆ドームや資料館では、戦争のこわさを知った。ぼくは、調べたこと以外の写真などを見て、見ただけでも、もう思い出したくないと思った。戦争をまた、くり返してほしくない。宮島では、とくに水族館が楽しかった。とくに、サメのペンダントがカッコよかった。とくに、暁人くんや楓君が宮島で買ったサングラスがDJみたいでカッコよかった。

小中一貫校の強みをいかして

本校では、小中一貫校の強みをいかし、「ふるさと教育の充実」を目指しています。今年度の目標や取り組みについて紹介します。

本校の「ふるさと教育」は9年間を見通した連続性のある教育活動として計画・実施しています。学年区分とテーマは次の通りです。

- 小1・2年（入門期）『知夫のよさに気づく・知る』→知夫が好きで、よく遊ぶ子
- 小3・4年（前期）『知夫の学びを広げる』→知夫のことを知り、より分かろうとする子
- 小5・6年～中1年（中期）『知夫の学びを深める』→知夫の今を知り、未来を考える子
- 中2～3年（後期）『地域の大人と協働し、知夫のために行動する』

→知夫の未来を描き、提案・行動する子

現在、中学部をはじめ、各学年とも地域の方を講師としてたくさんの方を学び、充実した学習がスタートしています。学習の様子について、今後お伝えしていきたいと思ひます。



バスケット交流試合

六月二十五日、本校で福井小学校とバスケットの交流試合が行われました。

子ども達は約一ヶ月の間、「助け合いとは何か」「負けないためにはどうすればよいか」ということを常に考え続け、成長してきました。

試合当日はたくさんの声援を受け、バスケット練習で身につけた力を思いきり発揮しようとする姿をたくさん見ることができました。これまでの頑張りをこれからの頑張りに繋げられるよう今後もかわっていききたいです。練習からのご支援、ありがとうございました。

〔体育主任〕

小学部六年 男子

バスケット練習で、周りを見て、声を出したり動いたりできるようになりました。

これからの課題は、バスケットで身に付いたことを、これからの生活に生かすことです。まだ、たくさんの方の行事があります。バスケットで、「あいさつ」・「返事」・「前向きな声を出すこと」・「全力で取り組むこと」ができたと思うので、これからのことについていっしょに頑張りましょう。

キャプテンとして、皆を引っ張って来ました。もちろん色々なことをたくさん言われて、つらい気持ちがあったけど、やらないとだめだと思ひ、練習してきました。

大会がなくなってしまい、悔しかったです。練習を最後までがんばったのでよかったです。

